

はじめに

近年、世界規模で地球温暖化の影響とみられる自然災害が相次いでおり、気候変動がもたらす影響は深刻さを増しております。

国内でも台風の強大化や短時間豪雨による風水害が頻発しており、気象庁は、令和 5(2023)年の日本の年平均気温が、統計を開始した 1898 年(明治 31 年)以降の 125 年間で最も高い結果となったことを公表しました。

本市においても、直近の 40 年間で、年平均気温は約 1.1 度上昇し、気温が 30 度を超える真夏日の日数も増えるなど温暖化が進み、令和 2(2020)年 7 月の豪雨では、市内各地で床下・床上浸水、土砂崩れなどの甚大な被害が発生するなど、市民生活に多大な影響を及ぼしています。

地球温暖化への危機感が高まる中、わが国では、令和 32(2050)年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする目標「2050 年カーボンニュートラル」を宣言して、脱炭素化の取組を推進しています。

本市でも、この危機的状況を回避するため、令和 4 年 2 月に 2050 年までに市域の二酸化炭素排出量を実質ゼロにし、温暖な気候や豊かな自然環境を未来の子供たちに引き継ぐために、地域全体で脱炭素社会の実現を目指す「ゼロカーボンシティかのや」を宣言しました。

本計画は、市域全体で省エネルギーの取組強化や、再生可能エネルギーの導入加速化などの脱炭素対策を着実かつ効果的に推進していくための指針となります。

ゼロカーボンシティの実現には、行政のみならず事業者、市民の皆様一人ひとりが地球温暖化問題を自分事として意識していただき、一丸となって具体的な行動に移すことが重要でありますので、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、鹿屋市環境審議会委員の皆様には、各々の立場や視点でご審議をいただき、また、多くの市民・事業者の皆様におかれましては、アンケート調査など様々な機会を通じたご協力に対しまして、心から感謝と御礼を申し上げます。

令和 6(2024)年 3 月

鹿屋市長

中西 茂

